

地域支援だより No.2

厳しい残暑のなかにも、秋の訪れを感じる季節となりました。この時期は運動会や学習発表会、年が明ければスケート・スキー教室など大きな行事が多く、子供たちが飛躍的に成長する時期であると同時に、集団生活でのつまずきや行動面での変化が見られやすい時期でもあります。

日常の学校生活の中での支援に加え、行事における集団活動の中で、支援の必要な児童生徒について、どのように配慮していけばよいのか悩まれている先生方もいらっしゃるかと思います。もし困っていること、悩んでいることがありましたら、ぜひお気軽に本校へご相談ください。

今回は、車椅子のお子さんが校外学習に参加する際に下見で確認すべきポイントや学習の際の支援グッズをご紹介します。

校外学習下見のポイント

- ・下見の前に、車椅子の幅、高さ、奥行きを測定しておく。
(付属の机をつける場合は、机の幅も測定しておく)
- ・リフト付きのバスを利用する場合、バスの乗降場所にリフトを稼働できる十分なスペースがあるかを確認する。
- ・バスを降りたあとの、目的地(施設)までの動線、移動時間の確認をする。(雨天時も含めて)
- ・移動ルート of 段差、傾斜、道幅、歩道の幅の確認をする。(危険箇所の確認も)
- ・トイレ、休憩場所の有無と場所の確認をする。
- ・エレベーターの場所、大きさ(入口、幅、奥行き)の測定と段差の確認をする。
- ・食事等で使用するテーブルや椅子の大きさ(高さ)や配置の確認をする。

うまくえんぴつが持てない…
書きながらフリントが押さえられない…



子どものための介助・自助支援グッズ
「Qシリーズ」がおすすめです！

埼玉福祉会の総合販売サイト
サイフクオンラインより

Qシリーズに
ついて⇒



リコーダーの穴を押さえられず
変な音が出でしまう…



弱い力でも笛穴をふさぎやすくし、
音漏れを防ぐ「ふえピタ」♪
1セットでひとつのリコーダーに
対応できます。



病弱の生徒の受け入れについて

山梨県立特別支援学校学則の改正により、
令和6年4月から県立特別支援学校高等部
(肢体不自由設置校 4校)において、病弱の
生徒の受け入れが始まっています。

進学に向けた教育相談、学校見学などご希望
がありましたらご相談ください。

山梨県立あけぼの支援学校

〒407-0046

韮崎市旭町上条南割3251-1

TEL : 0551-22-6131

E-mail : shien@akebonoy.kai.ed.jp

URL : <http://www.akebonoy.kai.ed.jp>

(地域支援担当: 大原嘉代 坂本梨恵子 土橋克行)

